

福祉施設としての取り組み

社会福祉法人旭川春光会 障害福祉サービス事業所 セルプ豊里 施設長 日下貴博

URL <http://www8.ocn.ne.jp/~shun2001>



■社会福祉法人 旭川春光会です。



(↑「セルプ ノイエ」「セルプ フロイデ」)



(↑市内の廃校を利用した「セルプ 豊里」)

旭川春光会は、昭和24年4月北海道立春光授産場として設立しました。昭和26年5月北海道立から財団法人（民営化）となり、昭和27年5月に社会福祉法人旭川春光会として認可を受け、身体・知的・精神・母子及び寡婦、生活保護受給者を対象にした社会福祉事業法適応施設（授産施設「春光授産場」・宿所提供施設「協和寮」の2施設）を運営する法人として、旭川市春光5区（現旭川市春光3条7丁目）に誕生しました。開所当初は、北海道の豊富な林産資源を有効に活用し、大きな丸太からの製材加工を中心に取り組んでいました。今から遡る事、60年以上前の話です。

現在は、平成13年4月に旭川市台場地区（神居町忠和）に移転新築をした際に、春光授産場を、身体障害者通所授産施設「セルプ ノイエ」（定員20名・「ノイエ」はドイツ語で「新しい」という意味）・知的障害者授産施設（通所）「セルプ フロイデ」（定員20名・「フロイデ」はドイツ語で「喜び」という意味）2施設とし開所、平成21年7月に旧旭川市立豊里小中学校の校舎跡を利用し、就労継続支援B型事業所「セルプ 豊里」を開所、計3就労継続支援B型事業所、平成18年5月に共同生活援助事業 第1号の「グループホーム明り」を開所して、現在、旭川市内に5棟（定員計

24名）のグループホームを運営し、障がい者の「作業（働く）」「くらす」のサポートをしています。

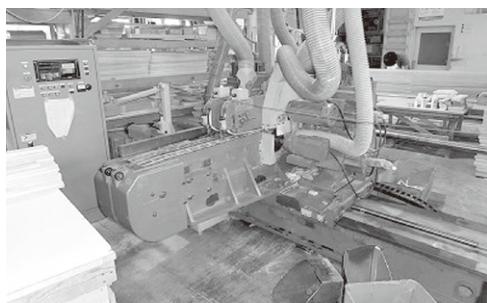
■それぞれの施設（事業所）が特徴を持って

旭川春光会では、今でこそ、障がいを持たれた方の作業軽減のため、丸太からの製材加工は行っていませんが、当法人施設に通所される方々の障害種別（身体、知的、精神）、障害特性を考慮し、それが持たれている多様化するニーズに応えるため、木材加工作業を大きな柱（その他、昼食提供、農園、委託作業をやっています）として、各施設がそれぞれの役割、特徴を持って作業支援を進めています。

セルプ ノイエでは、春光授産場からの流れを受け、旭川市の基幹産業であり、全国的なブランドでもある「旭川家具」の製造メーカー様より受注を受け、食器棚、タンス、サイドボードなどの引出し側板、向板の完全加工をはじめ、学童用教材の工作板、木製玩具等木材など、シナ、クルミ、ニレ、セン、キハダなどの北海道を代表する「木材料(板材)の製造」を担当しています。国内の枯渇する木材を有効に使用すべく、幅方向のフィンガー加工による貼合わせを行い、集成材の生産を行っています。（木材料作りが得意です。）



(↑4面貼り合せ機・ノイエ)



(↑Wエンドテノーナ・ノイエ)

セルフ フロイデでは、6軸モールダーを使用した建築用製材等賃貸かけ作業や羽目板作成作業、システムキッチンを中心とした、各種サイズの扉の加工を行っています。また、フラッシュ（芯材を枠組みし、ベニア板でサンドし板材パーツをつくる）加工による家具及び商品陳列用什器のパーツ作り、住宅用フロアーリングのパテ埋め、階段用木材のワイドサンダー仕上げ加工作業など、お客様のニーズに合わせた賃加工業を行っています。（家具等のパーツ加工が得意です。）

その他に、ラティスフェンス、ベンチ、プランターカバーなどのガーデニング用品作成、保育園、幼稚園様向けのキッチンセット（おままごと）などの少し大きめな玩具の製作を行っています。



（↑扉加工ライン作業・フロイデ）



（↑6軸モールダー・フロイデ）

セルフ 豊里は、タッカーや電動ドリルなどの工具、糸鋸機などを使って、木製小物製品の加工を行っています。主にホームセンター様向けの製品（バードテーブル、鳥の巣箱、すのこ、鍵等の柄物）の製造、パズル、写真立て、丸棒などを作っています。また、「ダイレクトプリンター」（木に直接、フルカラープリントができます・A3サイズ（約295mm×420mm）で厚み100mmまでの木材・文字及び画像データがあれば、1枚からでも製作可能）による各市町村、スポーツ大会等の記念品の作成や木の賞状などの作成、「ミニNCルーター」（文字入れや切り抜き、絵を描く事ができます・1枚からでも製作可能）では、糸鋸加工前の下絵入れやネームプレートの作成（ペットのタグ等）などを行っており、パソコンと木工加工機械が連動した特殊加工機5台による木製品の製造を行っています。豊里で使用する材料は、セルフ ノイ

エ及びセルフ フロイデから仕入れをして製造しています。（糸鋸、組立て、小物づくりが得意です。）



（↑工具を使った組立・豊里）



（↑糸鋸加工作業・豊里）

■つながり・支え合い

全国の障害者支援を行う施設では、木工加工を利用者の作業支援（お仕事）として取り入れている施設はたくさんあります。とりわけ北海道は、特殊工作機械（ダイレクトプリンター、NCルーター、レーザー加工機、モールダーなど多数）を要し、家具や什器、住宅用建材等を大規模に取り組んでいる施設、また、糸鋸、ルーター、各種の電動工具等を駆使して細かな作業を丁寧に行い、おもちゃや生活小物を中心に、木工製品を作っている施設も多くあります。機械力を有する施設と繊細な仕上げが得意な施設が存在しています。以前の障害者施設は、「自分の施設の製品は自分たちで作る。」が当たり前でした。デザインから出荷まで…です。当法人の施設もそうですが、それぞれが単独で作業を行うだけでは、生産できる量が限られ、当然、お客様から受注できる量、内容、製品精度、スタート時点の製品開発能力も限られてしまいます。幸い春光会では、木工作業を柱とする3つの施設が協力し合い製品作りを行うことができます。木材料（板材）の製造を「ノイエ」→材料の加工「フロイデ」→製品化、組立を

「豊里」と言うように、それぞれの得意分野を行い分業化することにより、最小限の機械設備、効率的な作業の流れ、精度の高い製品作りができてきます。同一法人内の施設であれば比較的簡単に連携をとることができます。道内では多くの他法人施設が連携を取りながら、より良い製品作りを行っています。旭川、稚内、新得、平取、札幌…と広範囲

ではありますが、それぞれの施設の得意分野をそれぞれの施設が有効利用出来る強い協力関係を持っています。職員間の情報交換は密です。例えば、材料屋である「ノイエ」では、木材の木取り寸の良い、歩留まりが高いサイズの情報を提供、その情報により製品開発をしてもらい、材料原価を抑える事や、各施設保有の機械種類、加工能力、精度等の情報の共有ができます。また、各施設において作業に取り組まれている障がい者の方々が持たれている高い技術（特に、糸鋸による材料の切断、サンダペーパーによる繊細な仕上げ作業）は、機械力を遥かに凌ぐものであり、一つ一つの製品を引き立てるものとなっています。さらに、より良い製品を作り続けるために、「ダメなものはダメ」と言い合える関係も保ち、互いに切磋琢磨をしながら、改善の努力も行っています。それそれが得意分野を受け持ち連携することによって、販売価格も抑えることができる。販売先も各施設が持っているお客様を共有することができ、販路が何倍にもなります。同じ思いを持った福祉施設ならではの連携ができます。この繋がりは北海道内ののみならず、全国（福島、埼玉、名古屋、兵庫、滋賀、高知、福岡など）で行われています。

■私たちの思い

同じ思い…。「良い製品を作りたい。」「お客様のニーズに応えたい。」「たくさん販売したい。」…。その総ては、施設に通い、汗をして作業に熱心に取り組んでおられる障害を持たれた方の「作業工賃の向上、生活の質の向上。売れる（役に立っている）喜び。」に繋がっています。

現在当法人施設には、計50名の障害を持たれた方が通所しています。

当法人も大きな機械や一般家具製造工場と相似のライン加工作業を取り入れ、作業を中心の障害者支援を行っているとは言え「障がい者施設」。「利用者の身体的及び精神的健康状態は良いか。」「利用者が作業を安全に行える仕組みはできているか。」「喜びをもって施設に通い作業に取り組めるか。」をまず第一としなければなりません。当たり前ですが、職員は、木工職人である前に、「福祉人」でなければなりません。（諸先輩方からいただいた言葉です。）

の中でも、木のぬくもりを大切にした温かみのある良い製品づくり、一般企業様、地域の皆様にご協力、ご理解、ご指導をいただきながら、今後とも、利用者と共に、明るく、楽しくをモットーに汗していくたいと思います。今後とも、よろしくお願ひします。

■私たちが作っています。

小さなものから大きなものまで…。木工、木材のこ

となら、是非、我々「障がい者施設」にお声かけください。ご満足いただける製品を、お客様とみんな（利用者+職員）で作り上げます。施設間での連携作業ができますので、大量注文にも対応することができると思います。

★「木製パズル（SL型）」



（↑道産ニレ材の木目を生かした木製パズル。旭川春光会の施設間連携製品の象徴。材料はセルフノイエ、糸鋸加工&ルーター面取りはセルフ豊里、ペーパー仕上げ&箱詰め、出荷は旭川美景園が担当しています。その他、バス型・ハウスI型・ハウスII型・額型の全5タイプがあります。）

★「コロンぐりん」と「ご当地キャラストラップ」

は、道北地区（旭川、稚内、中富良野、当麻など）の障がい者施設が北海道社会福祉協議会のご協力の元、木工製品開発プロジェクトを立ち上げ、製品開発（デザイン）から販売ルートの検討と開拓、製品の原価及び販売単価計算、そして製品製作作業の全般を協力して、ひとつの製品を作り上げたものです。今後も、この繋がりを深め、多くの施設が「考え・作る」製品づくりをしていきたいと思います。

「コロンぐりん」



（↑どんぐりをイメージしたかわいいデザイン。鈴が中に入っていて、木の音、鈴の音がとても優しいです。プレートには、お名前を入れることができます。木工部分の加工は勿論、編み紐も制作しています。）

「ご当地キャラストラップ（北海道型）」



営業活動のため、見本品として作成したもので、色々な形、プリントが可能です。見本も作ることができます。

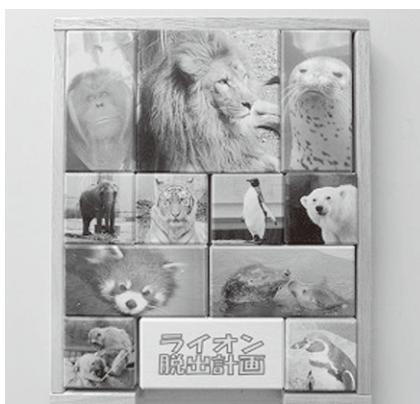
（↑おらが町を全国に売り込もう!!を合言葉に、市町村向けの製品として考えました。表面は、キャラクター。裏面は、ご当地の自慢をプリント。ストラップの形も自由。PR文の字体も自由。（文字数には制限があります。）絵や色も自由。地元産の木材を使うこともできます。見本の作成もできます。是非、PRにお使いください。また、個人向けにも販売をしております。入学記念やお誕生記念などにお使いください。）

「バードテーブル（Aタイプ）」



（↑バードテーブルは、大手ホームセンター様で販売していただいている。材料カットから製品の梱包まで、利用者が行っています。その他、Bタイプ、小Aタイプ、小Bタイプ、小Cタイプ、宮タイプ、ウッドタイプ、ログタイプの全8タイプがあります。）

「ライオン脱出計画（知能パズル）」



（表情豊かな動物たちの写真を、特殊プリンター（ダイレクトプリンター）で、直接、木材（北海道産を中心としたシナ材）にプリントした製品です。ルールもとても簡単、ライオン脱出計画のパーツを外し、大小のパーツを上下左右にずらし、ライオンを出口から出す。子供から大人まで、十分楽しむことができる「知能パズル」です。）

「キッチンセット（ままごと）」



（↑保育園、幼稚園様向けの製品として開発しました。大人になってもご使用いただけるように、丈夫な造りと、棚としてもご使用いただけます。）

■今後の取り組み

現状では、障がいを持たれた方が一般就労に結び付くのは、とても難しく狭き門と言えます。当法人が運営している「就労継続支援B事業所」は、利用者がいつまでも安心して通うことができ、その中で、利用者の工賃（給料）向上を目指すことが使命です。また、製品づくりにおいて、利用者主体の作業である（多くが職員の作業でない）こと、製品づくり、販売において、利用者に喜びをもってもらえる事を目指して、取り組んで行きたいと思います。作業を行う多くの障がい者施設では、一般企業様に負けない商品を作っています（そのように努力しています）。是非、お手に取っていただき、その良さを実感してください。さらに施設にお越しいただき、利用者の頑張りをご覧ください。今後とも、多くの施設と連携をして、より良い製品づくりに励んでまいります。